

中央大学図書館要覧

Chuo University Library



多摩キャンパス

中央図書館
大学院図書室
文学部専攻別図書室
総合政策学部図書室



後樂園キャンパス

理工学部分館
ビジネススクール図書室



市ヶ谷キャンパス

市ヶ谷キャンパス図書室



市ヶ谷田町キャンパス

アカウンティングスクール図書室・文系大学院図書室

図書館要覧・目次

1. はじめに	1
2. 沿革	3
3. 施設・設備	
(1)中央図書館	5
(2)大学院図書室	10
文学部専攻別図書室	
総合政策学部図書室	
(3)理工学部分館	11
(4)ビジネススクール図書室	12
(5)市ヶ谷キャンパス図書室	13
(6)アカウンティングスクール図書室・ 文系大学院図書室	14
4. 蔵書検索について	15
5. 利用サービス	16
6. 蔵書:貴重書等について	17
7. My CULについて	18
8. アクセスマップ	19
連絡先	20



1. はじめに

中央大学図書館は、中央図書館、大学院図書室（文学部専攻別図書室含む）、総合政策学部図書室、理工学部分館（理工学部学科図書室含む）、ビジネススクール図書室、市ヶ谷キャンパス図書室、アカウンティングスクール図書室・文系大学院図書室から構成されています。

全蔵書数は215万冊を数え、所蔵雑誌のタイトルは約23,000種となっています。また、CD-ROMを含む視聴覚資料は、タイトル数で約8,200点を所蔵しています。

これら蔵書類の図書情報は、中央大学図書館システム（**Chuo Online Information System** 愛称 CHOIS・チョイス）の中に全てデータベース化されています。CHOISにより、図書館内だけでなく、自宅からもインターネットを通じて、蔵書を検索することができます。さらに、携帯電話からも、蔵書検索が可能です。

設立125年以上の歴史を誇る図書館は、特に建学の精神を受けて法律関係の蔵書が多く、国内外の官報、判例集、議会関係資料などを豊富に揃えています。また、貴重な古典本も多く、D・ヒューム（イギリス・経験論哲学者）、J・ベンサム（イギリス・社会哲学者）、T・ハーディ（イギリス・小説家・詩人）のコレクションは、世界的に極めて貴重なものとなっています。



Riviere の製本初版本集（T・ハーディ・コレクションより）



D・ヒュームの書簡





中央図書館 エントランスホール

2. 沿革

年	月	できごと
1885	9	神田錦町2丁目に中央大学の前身英吉利法律学校創立その設立趣意書中の「法律書庫を設立する」により図書室が設けられる
1887	2	本学創立者の一人、高橋一勝病歿後、同氏の記念として高橋法律文庫が設けられる（図書館史上、明治初期における法律文庫の先駆をなした）
1892	4	神田大火、附属図書室及び高橋法律文庫の蔵書数万冊をことごとく失う
1911	4	創立者の一人、奥田義人博士の在職25年を記念して奥田文庫設置
1912	11	カール・リッター・フォン・ビルクマイヤー博士（ドイツの刑事法学者）から譲られた文庫8,311冊を奥田文庫に収蔵
1917	6	再度の火災により、図書室所蔵の数万冊と奥田文庫（ビルクマイヤー文庫）全部を失う
1922	5	鉄筋コンクリート4階建耐震耐火設備をそなえた図書館を建築（写真1）
1926	2	本学、神田区南甲賀町に移る。校舎の一部を図書室とする
1930	11	新築図書館落成（駿河台本館）（写真2）
1945		1945年度蔵書数108,945冊（資料費予算8,000円）
1950		1950年度蔵書数121,860冊（資料費予算3,000,000円）
1952	10	工学部分館設置
1954	6	後楽園校舎図書館文学部分館完成（写真3）
1954	7	千代田区駿河台図書館を譲り受け、中央大学第二図書館とする（写真4）
1955		1955年度蔵書数194,315冊（資料費予算14,500,000円）
1960	6	卒業生に図書館使用許可証発行 1960年度蔵書数279,534冊（資料費予算31,500,000円）
1962	12	理工学部分室設置（理工学部校舎）
1963	5	中央大学図書館規則制定
1963	6	コロンビア大学と法律書の交換寄贈を行なう
1964	11	本館の組織、収書課・編成課・閲覧課・資料課・大学院分室・学生参考分室・後楽園分室・館長付となる 学生参考分室に学生研究閲覧室（開架）を付置 資料閲覧室（社会科学系）を設置 同年より目録体系整備のための再編成業務をはじめ
1965	1	中央大学図書館速報創刊
1965	4	学生参考分室に指定書閲覧室を設置
1965	10	創立80周年を記念して新図書館建設着工（駿河台中央図書館）
1965	12	資料閲覧室（視聴覚系）開室 1965年度蔵書数358,370冊（資料費予算40,350,000円）
1967	5	新図書館竣工（駿河台中央図書館）（写真5）
1967	6	理工学部分室に開架閲覧室を設置
1967	9	レファレンスルーム開室（駿河台中央図書館）
1970		1970年度蔵書数565,811冊（資料費予算90,000,000円）
1972	3	学生参考分室を閲覧課に併合
1973	1	図書館広報誌「CUL」（Chuo University Library）創刊 多摩移転に伴う新図書館建設について検討始まる
1975		新図書館建設着工（多摩校舎） 1975年度蔵書数721,962冊（資料費予算133,460,000円）
1977		資料課廃止。編成課を整理課に改組。多摩移転
1978	4	中央図書館開館（多摩校舎）（写真6）
1980	1	駿河台図書館閉館 近世ドイツ法・イタリヤ法関係コレクション冊子体目録発行 1980年度蔵書数815,385冊（資料費予算242,746,000円）
1981	1	新図書館理工学部分館を新築して開館（写真7）
1982	10	創立100周年を記念してデイヴィッド・ヒューム・コレクションを購入（667冊）、マイクロ化をはかる
1983	1	日曜開館開始（学年末の試験期）
1983	10	逐次刊行物課設置。収書課を図書課に改組
1983	11	オットー・プルンナー・コレクション購入（2,905冊）
1985		1985年度蔵書数1,103,517冊（資料費予算315,657,000円） 大学創立100周年記念展示会が中央図書館で開催され、貴重図書等を出展 デイヴィッド・ヒューム・コレクション解題目録発行 オットー・プルンナー・コレクション冊子体目録発行 ライヒ最高裁判所17～18世紀法学位論文コレクション購入 ロストック大学旧蔵16～18世紀法学位論文コレクション購入



写真1
耐震耐火設備をそなえ、1,092㎡の広さを持つこの図書館は、関東大震災から3万冊余の図書を守った。なお、この建物は大学の駿河台移転により東京電機大学に渡り、1982年まで使われた。



写真2
駿河台移転に伴い、鉄筋4階建、2,765㎡の広さを持つ近代的図書館として完成。1987年の多摩移転まで本館および大学院分室として使われた。



写真3
後楽園校地への文学部・工学部の教養課程移転（1953）、中央大学高等学校・通信教育部の移転（1959）に伴い、図書館分館として新築され、1971年度まで使われた。



写真4
大講堂に隣接する千代田区立駿河台図書館を譲り受け、開館した。見返りに九段下の元軍人会館横に代替図書館を本学が建設し、区に引渡した。1962年度途中まで使われていたが、4号館建設のため取りこわされた。

年	月	できごと
1987	7	総務課設置。整理課を図書課に改組
	11	大学院分室を開覧課に併合 雑誌コーナー設置
1988	2	マシン・ルーム開設
	3	トマス・ハーディ・コレクション解題目録発行
1989	4	CHOIS システム一部稼働（閲覧、逐次刊行物、情報検索）
1990		1990年度蔵書数1,240,579冊（資料費予算349,657,000円）
	4	CHOIS 収書システム稼働
	7	中国文・朝鮮文逐次刊行物目録刊行
	10	ヴーランヴィリエ旧蔵マニユスクリプトコレクション購入
1991	4	閉架図書の学部学生への館外貸出開始
	5	ポール・T・高木教授寄贈図書目録刊行
	10	Journal of House of Lords (220巻) 購入
1992	4	学術情報センター NACSIS-CAT による整理開始
1993	7	学術情報センター NACSIS-CAT 登録開始
	12	島田襄平教授寄贈図書目録刊行
1994	4	早稲田大学図書館と情報検索の相互協力開始
		八王子市中央図書館へ CHOIS 公開
		理工学部分館施設改善（カード目録ケースを撤去）
	8	図書の外部保管委託開始（150,000冊）
	10	第2次図書館改善基本計画（1995～2004年度）の策定
1995		1995年度蔵書数1,514,565冊（資料費予算517,399,000円）
	3	中央大学図書館システム（CHOIS）開発報告書発行
		図書館利用実態調査報告書発行
		中央図書館施設改善（総合目録カードケースを撤去、雑誌室の拡充、閲覧席の増設）（年次的に実施）
	4	中央大学図書館国際機関資料室開設（中央図書館内）
1996	4	中央館2階雑誌室改善工事実施
1997	4	中央館開館時間の延長。22時までに変更
1998	2	館内LAN構築
1999	4	第2期図書館システム稼働
2000		2000年度蔵書数1,728,499冊（資料費予算544,159,000円）
	4	市ヶ谷キャンパス図書室開設（写真8）
		図書課と逐次刊行物課を統合し、情報資料課に改組
		閲覧業務委託の拡大（夜間だけでなく、昼間にも拡大した。）
2001	4	東京都立大学附属図書館との相互協力協定を締結
		入館者チェックシステム導入
		図書館利用規程改正（返却遅延等に対する細則制定）
	5	E U - 日本フレンドシップウィーク開催
2002	4	総合政策学部図書室が図書館に移管
	9	東京外国語大学附属図書館との相互協力開始
	10	第3次図書館改善基本計画（2003～2005年度）の策定
2003	7	都心キャンパス事務室を設置（理工分館、文系大学院図書室、市ヶ谷キャンパス図書室を所管）
	9	文系大学院図書室開設（後楽園キャンパス新3号館13階）（写真9）
2004	4	市ヶ谷キャンパス図書室 法科大学院開校に伴い改築し、サービス開始。
	7	新図書館広報誌『My CUL』刊行
2005		2005年度蔵書数1,951,421冊（資料費予算603,216,000円）
2006	3	第3期図書館システム稼働
	4	法、商学部学生図書室業務移管
	11	第4次図書館改善基本計画（2007～2009年度）の策定
2008	4	ビジネススクール図書室 戦略経営研究科（ビジネススクール）開設に伴い、サービス開始
2009	11	ヨーロッパ法学レキシコン・コレクション購入
2010		2010年度蔵書数2,156,449冊（資料費予算587,021,000円）
	4	市ヶ谷田町キャンパス図書室（アカウンティングスクール図書室・文系大学院図書室）市ヶ谷田町キャンパスの開設に伴い、サービス開始
	10	中央大学創立125周年記念図書館主催国際シンポジウム「16～19世紀ヨーロッパにおける法知識の形成とその伝達」を開催
2011	3	2011～2013年度図書館改善基本計画の策定



写真5

創設80周年記念事業として計画され、地上10階・地下2階の7,733㎡、60万冊の収容能力を持つ中央図書館として完成した。多摩移転後の1980年まで図書館の一部として使用された。

写真6

広大な多摩校舎において、正面にひときわ目立つ中央図書館。14,283㎡の建物の中に、100万冊収蔵書庫や、1,685の閲覧席、自由に手にとって見ることのできる19万冊の開架図書を備えている。



写真7

新築された6号館の5～7階および地下1階が、図書館施設に当てられている。3,647㎡、30万冊収蔵書庫など、一学部の施設としては十分な広さを持ち、教員向けオンライン情報検索をいち早く実施するなど多様なニーズに応えている。



写真8

市ヶ谷キャンパス1号館の3階、4階に市ヶ谷キャンパス図書室が開設されている。



写真9

後楽園キャンパス新3号館13階にビジネススクール図書室が開設されている。

3. 施設・設備

(多摩キャンパス)

中央図書館

中央図書館は、4階5層構造の建物で、1,685もの閲覧座席数が用意されています。

1階(上層、下層)

1階は、書庫になっています。和・洋の専門書、逐次刊行物(雑誌、年鑑、統計、判例集等)を中心に所蔵しています。その他、個人閲覧室、マイクロ資料庫、貴重書庫(約11,000点)があります。

2階

閉架書庫の貸出、返却を行う「2階カウンター」、利用者の質問を受け付ける「レファレンスカウンター」、国際機関資料室(下記参照)があります。また、新刊雑誌約1,000タイトルを配架した「雑誌室」があります。利用者用に各種情報検索機も備えられています。

3階

ゼミクラス単位で読書会や勉強会が行える「グループ読書室」と4つの閲覧室があります。また、電卓、パソコンが使用できる「特別閲覧室」があります。

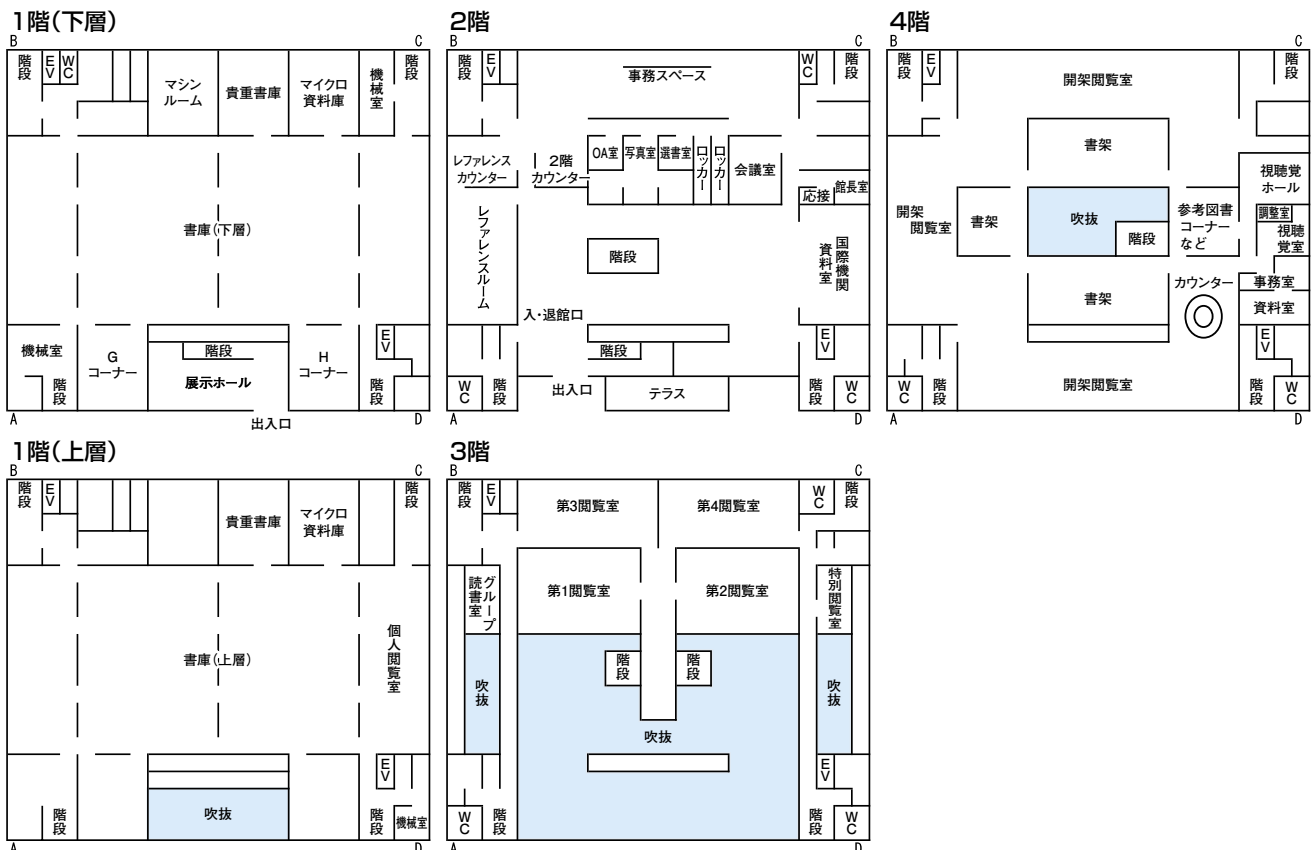
4階

「開架閲覧室」、「視聴覚室」、「視聴覚ホール」があります。開架閲覧室には、自由に手にとって利用できる図書が約19万冊あります。広々とした空間の中で学習できる環境となっています。

国際機関資料室

中央大学では1978年、キャンパスの多摩移転から国際機関資料について積極的に収集を行ってきました。1979年にはEC資料センター(現在はEU情報センター)に指定され、1994年6月に国連寄託図書館に指定されました。これを契機に国際機関資料の収集・利用について検討を行い、中央図書館内に「中央大学図書館国際機関資料室」を設置し、広く一般に公開しています。

フロアマップ



1階



書庫



図書自動搬送機 (テレリフト)



個人閲覧室



マイクロ資料庫

2階



中央図書館入口

2階



2階カウンター



雑誌コーナー



検索スペース



国際機関資料室



中央階段

3階



閲覧室



特別閲覧室



グループ読書室



2011年度後期から「学術情報の探索・活用法」開講

2011年度後期から、法、経済、商、文、総合政策学部の5学部生を対象として、大学で学ぶにあたって、基本的に身につけるべき学術情報の取り扱い方を体系的に学ぶ「学術情報の探索・活用法」が開講されます。

この科目では、図書館での伝統的な調べ物の手法からインターネット上の検索まで、実習をとおして調べ物の基本的スキルを学びます。まず、図書、雑誌、データベース、インターネットなど多様な媒体を駆使して情報検索をおこない、信頼性が高く学術的価値のある資料を見分ける力を習得していきます。つぎに、各人がテーマをひとつ設定し、レポートを作成します。蒐集した情報（辞書・事典類の記載事項、雑誌記事、図書の情報など）を活用して引用の仕方、参考文献リストの書き方、著作権等の基礎知識を身につけ、体系的な学習スキルへと発展させていきます。



4階カウンター



視聴覚ホール



閲覧室



「キャリア学習ゲート」「教職員推薦図書コーナー」



中央図書館4階に「キャリア学習ゲート」と「教職員推薦図書コーナー」を開設

中央図書館では、2011年4月より4階開架閲覧室の辞書・事典コーナーの全面的なレイアウト変更を行い、「キャリア学習ゲート」と「教職員推薦図書コーナー」を新たに開設しました。

◎「キャリア学習ゲート」には、学生が将来のキャリア設計や進路選択を学べる図書・資料が約1,000冊並んでいます。図書・資料を通じて、キャリア理論を学び、仕事・職業の情報を収集し、「働く」ことを考えられるようになっています。図書・資料は、以下の10分野に分かれて配架されています。

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 就職活動全般、年鑑 | 6. 資格取得関連 |
| 2. キャリアデザイン | 7. Uターン、Iターン就職 |
| 3. 職業あれこれ | 8. 進学 |
| 4. 業界・企業研究 | 99. その他 |
| 5. 一般常識、時事問題 | |

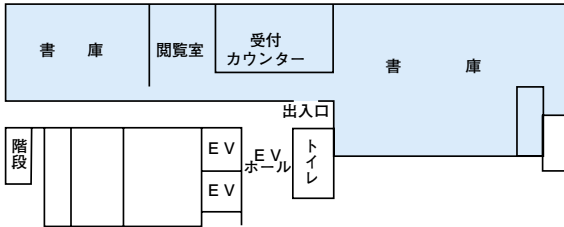
◎「教職員推薦図書コーナー」には、中央大学の専任の教職員が学生にぜひ読んで欲しいと願う本、自身が学生時代に読んでいつまでも心に残っている本など「お薦めの一冊」が推薦者のメッセージとともに並んでいます。また、学生が読み終わったあとに、推薦者へ感想やメッセージを伝えることができるお返しメッセージの箱も用意されています。こちらのコーナーは、一冊の本を通して、学生と教職員との出会いの場となることをめざしています。

大学院図書室

多摩キャンパス2号館5階にあります。

法・経済・商学関係の洋書を中心に専門図書を所蔵しています。利用者の中心は、教員・大学院生です。

フロアマップ



大学院図書室

文学部専攻別図書室

多摩キャンパス3号館にあります。

文学部の14の専攻（副専攻を含む）ごとに共同研究室を設けており、それぞれの専門分野についての専門図書を所蔵する専攻別図書室を併設しています。各図書室では、研究室員が利用者の相談や文献検索のサービスを行っています。



文学部専攻別図書室（写真：社会情報学専攻図書室）

総合政策学部図書室

多摩キャンパス11号館にあります。

学部のカリキュラムの特色から、政策科学、国際政策文化に関する洋書・専門書を中心に所蔵しています。他学部の学生も利用できます。



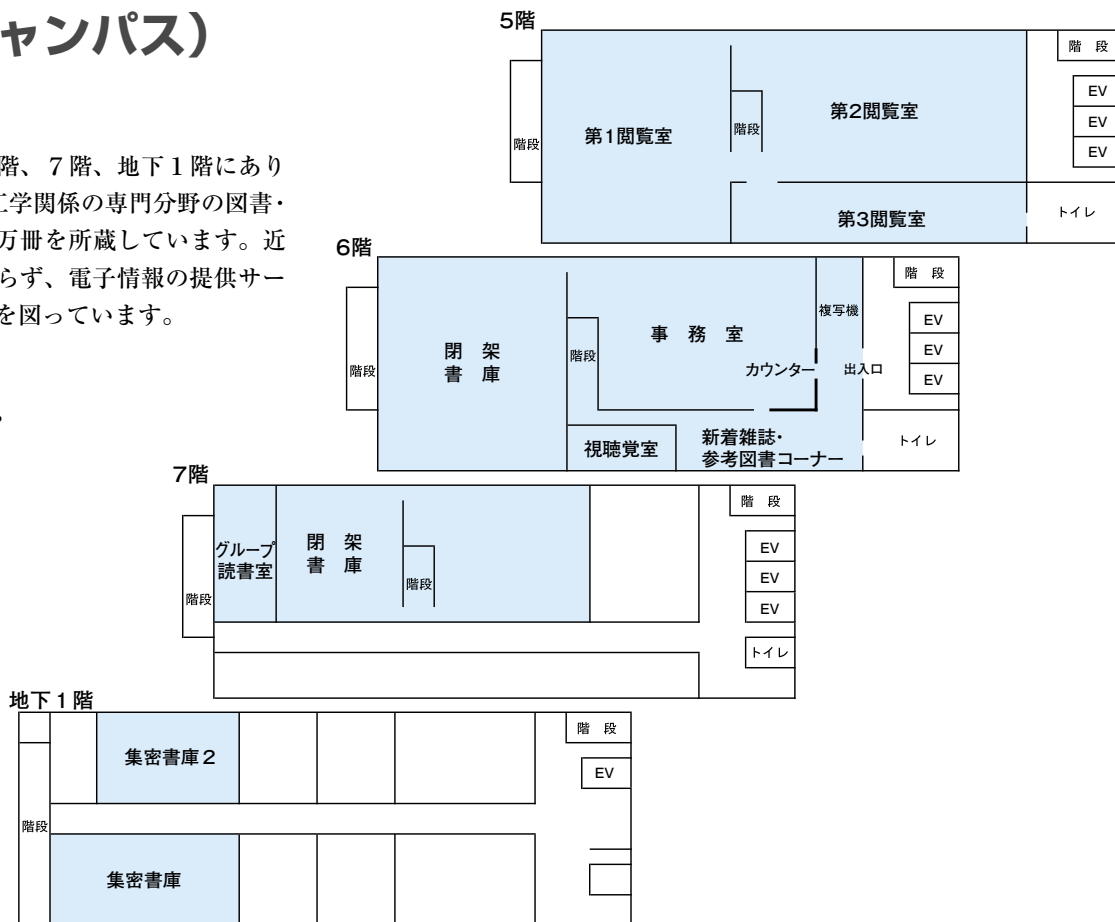
総合政策学部図書室

(後樂園キャンパス)

理工学部分館

6号館の5階、6階、7階、地下1階にあります。自然科学・工学関係の専門分野の図書・雑誌を中心に約25万冊を所蔵しています。近年は、紙媒体に限らず、電子情報の提供サービスの拡大・充実を図っています。

フロアマップ



5階



第1閲覧室



第2閲覧室



第3閲覧室

6階



カウンター



新着雑誌・参考図書コーナー



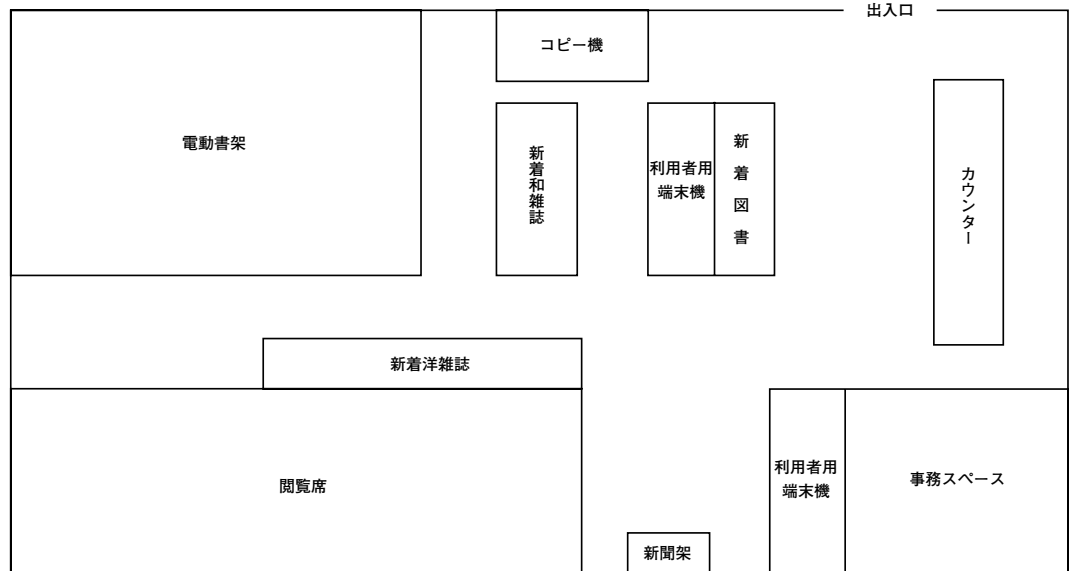
閉架書庫

ビジネススクール図書室

(本学の教員・戦略経営研究科（ビジネススクール）学生を利用対象者としています)

後樂園キャンパス3号館13階にあります。戦略経営研究科（ビジネススクール）の学修・研究主題に関連する専門書や学術雑誌を中心に提供し、また学内他キャンパスの図書の取り寄せや電子情報サービスを提供し、広く学修・研究を支援します。図書室内には5台の検索用パソコンが設置され、図書室が提供するデータベース等の電子情報に自由にアクセスできます。

フロアマップ



電動書架



利用者用端末機



閲覧席



新着洋雑誌

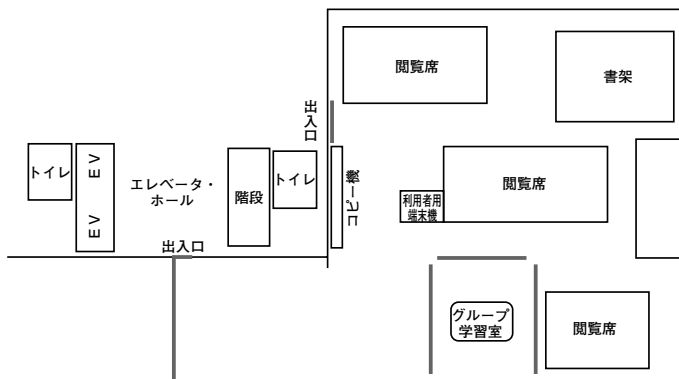
(市ヶ谷キャンパス)

市ヶ谷キャンパス図書室 (大学の教員・法務研究科生を利用対象者としています)

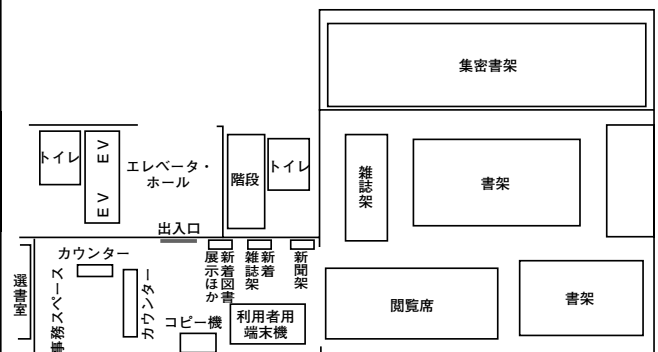
市ヶ谷キャンパス1号館3階・4階にあります。専門職大学院法務研究科の教育研究に関連する基本図書・専門図書・学術雑誌を収集・収蔵し、電子情報サービスの充実も進めています。法務研究科生の研究・学修を支援するため、4階図書室は、平日は9時から22時まで、授業期間中は、日・祝祭日も開室しています。3階図書室については、年末年始を除き9時から24時まで開室しています(入退室はカードキー方式)。

フロアーマップ

3階



4階



入口及びカウンター



観覧席



検索スペース



書架

(市ヶ谷田町キャンパス)

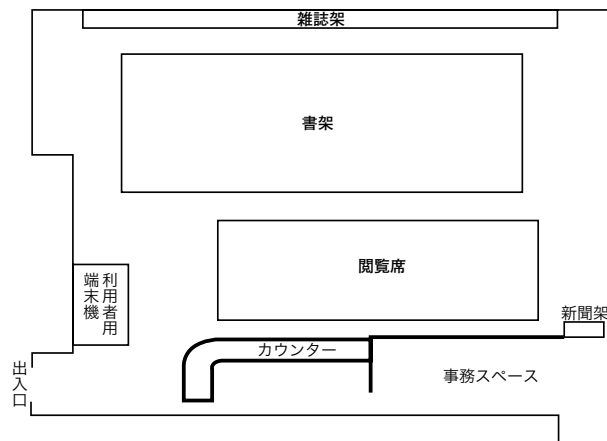
アカウンティングスクール図書室 (本学の教員・国際会計研究科生を利用対象者としています)

文系大学院図書室 (本学の教員・文系大学院生を利用対象者としています)

市ヶ谷田町キャンパス (中央大学ミドルブリッジ) 2階にあります。アカウンティングスクールの学修・研究主題関連図書約5,700冊、文系大学院の学修・研究主題関連図書約3,400冊を所蔵しています。また、アカウンティングスクールの学修・研究主題の学術雑誌を和洋約135タイトル、文系大学院の学修・研究主題の学術雑誌を和洋約55タイトル所蔵しています。

また、オンラインデータベースもBloombergや日経NEEDS-Financial QUEST、eol、Mergent Onlineといった企業・財務・株式情報のデータベースをはじめ、日経BP記事検索サービス、JSTOR、東洋経済デジタルコンテンツライブラリー、新聞全文データベース、雑誌記事索引データベース、法情報データベースなど多数取り揃えています。

フロアマップ



カウンター



書架



利用者用端末機



閲覧席

4. 蔵書検索について

当館では、図書館蔵書検索システムのことをCHOISと呼んでいます。

CHOIS（チョイス）とは、**Chuo Online Information System**の略です。1989年に稼働し、2006年に第3期のシステムが稼働しています。

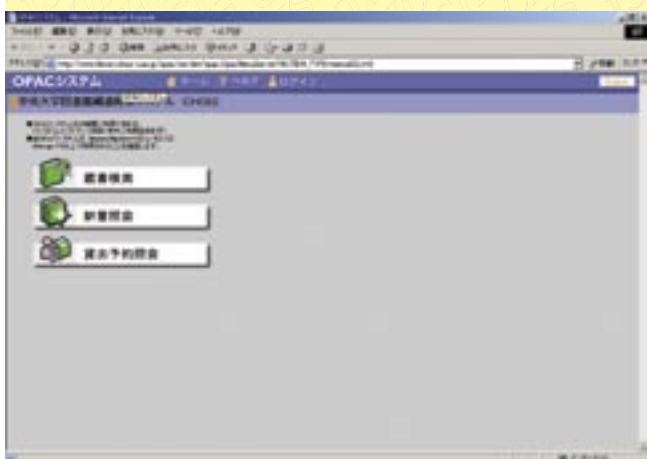
中央大学図書館の所蔵する図書・資料約215万冊の書誌・所蔵データは、クライアントにブラウザソフトが搭載されていれば、図書館外・館内を問わずインターネットを通じて図書館蔵書検索が24時間可能です。

蔵書検索については、図書館ホームページに公開されています。また、携帯電話からも蔵書検索が行えます。

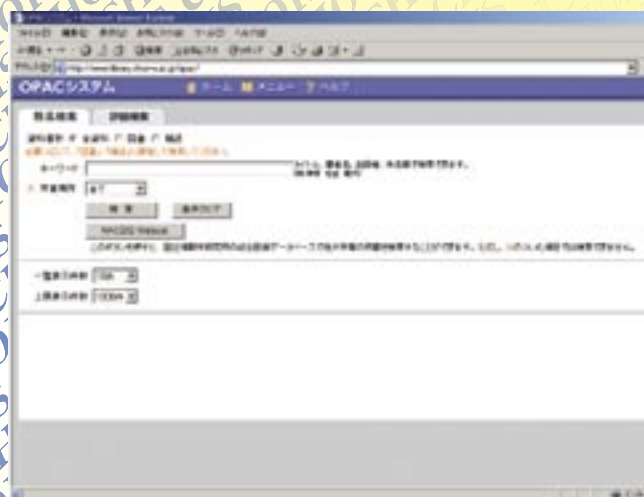
オンラインデータベース・CD-ROM 検索について

学習・研究用ツールとして、学外機関（外部）が提供しているデータベース、電子ジャーナルを多く利用できるようにしています。

CHOIS検索画面



検索画面1：先頭ページ



検索画面2：簡易検索画面



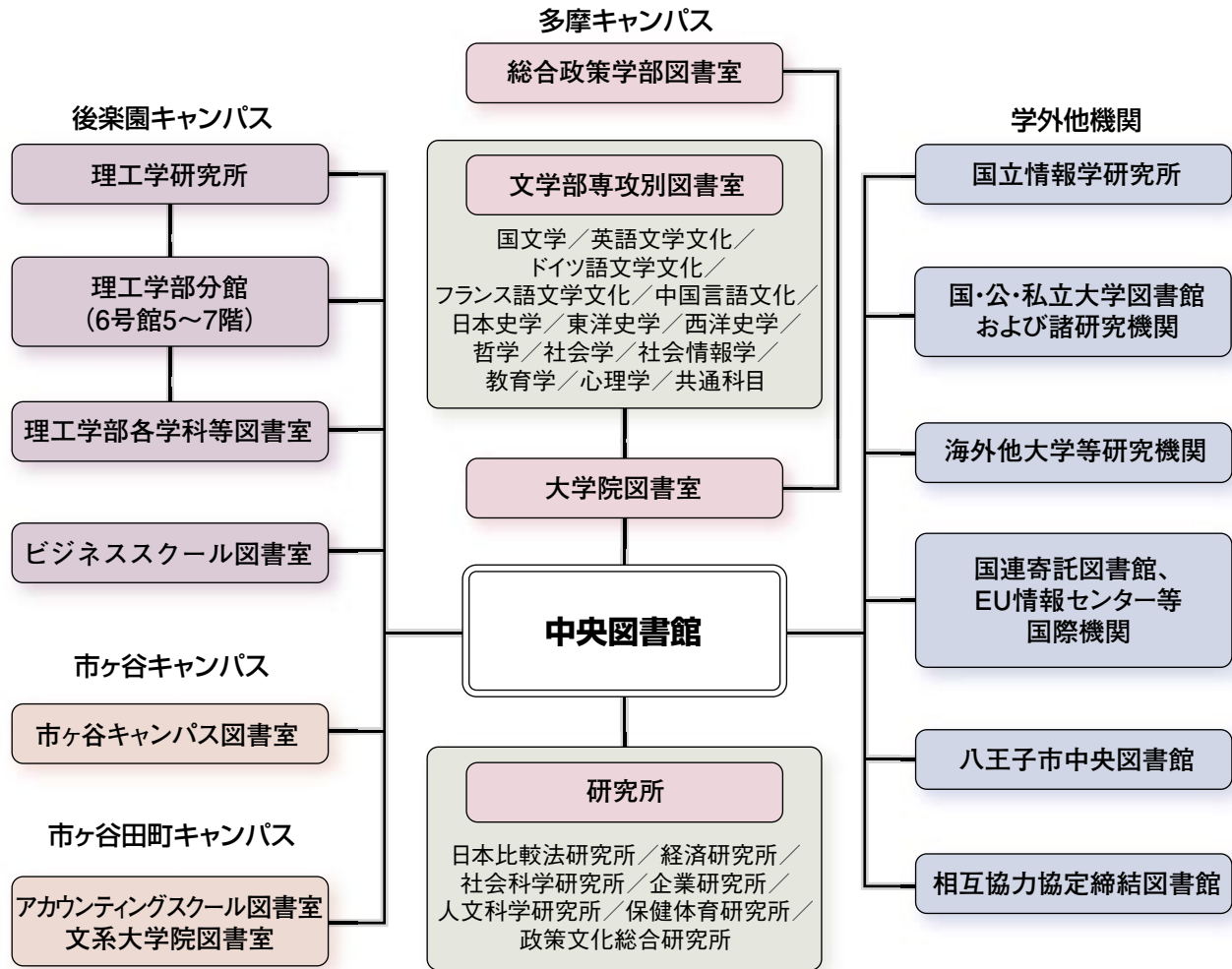
検索画面3：詳細検索画面



5. 利用サービス

中央大学図書館ネットワーク

以下のネットワーク体制のもと、サービスを充実させています。



中央大学図書館 サービス状況一覧

キャンパス	館・室名	場所	開館時間		
			平日	土	日・祝
多摩キャンパス	中央図書館		9:00~22:00		△
	大学院図書室	2号館5階	9:00~20:00 ^{#2}		閉室
	文学部専攻別図書室	3号館4階~9階	9:00~17:00 ^{#7}	9:00~12:00 ^{#7}	閉室
	総合政策学部図書室	11号館3階	9:00~20:00 ^{#2}	9:00~17:00 ^{#2}	閉室
	法・商学部学生図書室	6・5号館3階	9:00~21:00 ^{#1}		閉室
	経済学部学生図書室	7号館3階	9:00~19:00	9:00~16:00	閉室
後楽園キャンパス	理工学部分館	6号館5階~7階	9:00~21:00		△
	ビジネススクール図書室	3号館13階	12:00~20:00(月) 12:00~22:30 ^{#6} (火~金)	9:00~22:30 ^{#6}	9:00~20:00(日曜) ^{#3} 12:00~18:00(祝日) ^{#3}
市ヶ谷キャンパス	市ヶ谷キャンパス図書室	4階	9:00~22:00 ^{#4}		10:00~18:00 ^{#3}
	同上	3階	8:00~24:00 ^{#5}		
市ヶ谷田町キャンパス	アカウンティングスクール図書室・ 文系大学院図書室	2階	9:00~22:00 ^{#4}		10:00~18:00 ^{#3}

休館日については、各館(室)により異なりますので、詳細はホームページをご覧ください。

2011年6月現在の予定ですので、変更の可能性がります。

△：時期により休日開館を行います。

#1：法・商学部学生図書室は、補講・試験期間は月~土9:00~20:00になります。

#2：授業期間以外は月~金17:00、土12:00まで。夏季休業期間中の土曜日は閉室。

#3：大学院授業期間以外は閉室。

#4：大学院授業期間以外は9:00~20:00。

#5：年末年始は除きます。

#6：大学院授業期間以外は12:00~20:00。

#7：開室時間の詳細は専攻毎に異なりますので、各図書室へお問い合わせください。夏季休業期間中の土曜日は閉室。

6. 蔵書：貴重書等について

中央図書館の貴重書庫には、下記のような貴重書・コレクションを所蔵しています。

	コレクション名	解 説
1	ロストック大学旧蔵16－18世紀法学学位論文コレクション	北ドイツの法科大学ロストック大学図書館が集めた法学学位論文12,500冊。内容は学位論文、学位取得のための討論録、演習用教材、講義案など鑑定に到る全記録が含まれている。範囲は、法学の全分野、政治史、社会史、大学教育に関するドキュメントなどにわたり、イエナ大学、ライプチヒ大学などが多い。当時のプロテスタント諸国を網羅している。
2	近世ドイツ法・イタリア法関係コレクション	16世紀から20世紀にわたるドイツ法、イタリア法の地域史的研究コレクション。588点(808冊)のうち半数を19世紀、3割を20世紀が占め、古い時代は比較的少ない。地域的な法規集や判決録、単行論から実務のための手引にいたる文献類が中心である。
3	会計・簿記関係貴重書	カザノヴァ (Casanova, Alvise, 16th cent.) による1558年刊行の『簿記書』ほか、スコットランドの簿記関係貴重書12点。および後に収集した、17世紀から20世紀初頭の間に欧米諸国で刊行された簿記・会計学関係の古書146点はカザノヴァ以降の時代的空白部分を埋めることができる。
4	ローマ法関係貴重書	『市民法史(十二表法註解)』、『法の早引』、『ローマ法大全』、『ローマ市民法大全註釈』、『市民法の四淵源』など。我国におけるローマ法研究の確立者で本学に関わりのある春木一郎博士(1870-1944)旧蔵のローマ法文庫を中心とした1,776冊を所蔵する。
5	ヨーロッパ法学レキシコン・コレクション	16～19世紀にかけて欧州各地で編纂された法学百科事典のうち86タイトルを集積したもの。
6	ブーランヴィリエ旧蔵マニユスクリプトコレクション	フランスの歴史家、法制史家、哲学者の伯爵アンリ・ド・ブーランヴィリエ (Boulainvilliers, Henri, comte de, 1658 - 1722) の残した手稿全28巻。フランス啓蒙思想成立以前のフランス絶対王政を知るための貴重な資料である。
7	ライヒ最高裁判所図書館旧蔵17－18世紀学位論文コレクション	帝政時代のドイツにおける最も重要な、権威あるライヒ最高裁判所図書館によって収集された、1665年から1724年までの学位論文3,522冊。内容は法律の広い範囲にわたる業績で、イエナ、ウイッテンベルグなど諸大学の論文が比較的多い。裁判官が判決を形成するさいに不可欠な情報源であった。
8	パリ版アウグスティヌス著作集	ローマ帝国末期、キリスト教会最大の学者の一人で、西欧キリスト教の神学・哲学の基礎を築いたアウグスティヌス (Augustinus, Aurelius, 354-430) の著作集。1679－1700年に刊行されたパリ版(マウリ版)11巻。
9	マンデヴィル原著初版本および研究書コレクション	18世紀イギリスの作家である、バーナード・マンデヴィル (Mandeville, Bernard de, 1670-1733) の著作『蜂の寓話』のほとんど全ての版とそれ以外の主要な著作、および『蜂の寓話論争』に関係する文献が収められている。近代社会成立期における社会と思想の状況をえぐった『蜂の寓話』と、マンデヴィルの思想の全容とその思想的な位置を知る上で重要な資料である。
10	デイヴィッド・ヒュームに関するコレクション	イギリス経験論哲学の代表者、ヒューム (Hume, David, 1711-1776) に関するコレクション。生前に公刊したすべての著作のあらゆる版が完備されている。また自筆の書簡20通と同時代人のメモ2通を中心に、17世紀の半ばから18世紀イギリスの思想論争と、その内容を知るために不可欠な150人余の思想家の著作よりなる。301点。
11	イギリス古典派経済学初版本	アダム・スミス (Smith, Adam, 1723-1790) 著『国富論』、マルサス (Malthus, Thomas Robert, 1766-1834) 著『人口の原理』、リカードウ (Ricardo, David, 1772-1823) 著『政治経済学および課税の原理』、ミル (Mill, James, 1773-1836) 著『経済学綱要』の初版本。
12	ジェレミー・ベンサム著作コレクション	イギリスの法学者、哲学者であり功利主義的改革運動の理論的指導者であるベンサム (Bentham, Jeremy 1748-1832) の著作コレクション。イギリス下院議員サー・フランシス・バーデット、アメリカの政治家エドワード・リビンググストンの旧蔵書を中心とした110点。
13	マルクス『資本論』各国版初版本	マルクス (Marx, Karl Heinrich, 1818-1883) 著『資本論』のドイツ語版、フランス語版、英語版、ロシア語版の各初版本。
14	トマス・ハーディ・コレクション	イギリスの小説家、詩人であるハーディ (Hardy, Thomas, 1840-1928) の著作の初版本、初出雑誌、書簡、オリジナルの肖像画など。イギリスの著名なハーディ研究者であるジェームズ・ギブソン博士が収集した、342点。
15	ケルムスコット・プレス刊行物コレクション	19世紀英国の詩人、作家、芸術家、工芸家、社会主義者、大衆の啓蒙家ウィリアム・モリス (Morris, William, 1834-1896) が、私家印刷所 (Kelmscott Press) で私製活字を使用して制作出版した書物。生前刊行された53種の版本、死後刊行された11種の版本は芸術品ともいえる。
16	オットー・ブルナー教授の旧蔵書コレクション	20世紀の代表的中世史家、ブルナー (Brunner, Otto, 1898-1982) の蔵書の一部。稀覯本は少ないが歴史関係を主として、社会科学の全領域に関する図書を含む4,222点。
17	中世古文書	『法却本銭返田事』、『伊賀國三庄一同申状』、『足利二代將軍義詮書状』、『大友宋麟書状』、『豊臣秀吉書状』、『新納武蔵守忠元自筆書状』、『太閤検地帳』、『豊臣秀吉朱印状』。
18	肥後佐分利家関係文書	肥後熊本の本家佐分利家宛に歴代藩主が発給した知行関係文書。『加藤清正所領宛行黒印状』、『細川忠興知行宛行状』など、慶長6年より元治元年までの24点を収める。
19	近世古文書	『御朱印状』等の支配関係、村方・町方など年代、内容は多岐にわたるが、法制史関係に重点を置いて収集したもの。江戸時代中期以降852点と明治初期79点。
20	法理精華	明治18年創設の英吉利法律学校の機関誌であり、現在の『法学新報』の前身。明治22年1月創刊第1巻第1号より、政府との民法典論争により発行禁止処分を受けた終刊第7巻通巻第38号(明治23年7月15日)までの完本である。中央大学図書館貴重書指定第1号。
21	長谷川如是関係コレクション	東京法学院(中央大学の前身)出身で、明治から昭和40年代まで、ジャーナリスト、文学者として活躍し、本学出身者としては初の文化勲章受章者となった長谷川如是閑(1875-1969)と関係者の書簡、原稿類、写真など。姪の山本幸子氏、高弟の経済学者嘉治隆一氏の旧蔵品を中心に550点を収める。他に旧蔵書2,411点がある。
22	渡部学先生寄贈朝鮮の民間流布初学入門書	朝鮮における初等教育の入門に使用された教科書。渡部学武蔵大学名誉教授の寄贈にかかる。中国伝来のものから朝鮮総督府の監視の目を潜って刊行されたものまで木版本、活字本および写本198点を収める。



5. ヨーロッパ法学レキシコン・コレクション



13. マルクス『資本論』各国版初版本



14. トマス・ハーディ・コレクション

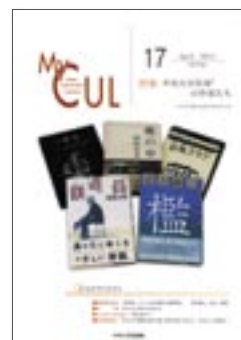
7. My CULについて

中央大学図書館では、図書館利用者の方に向けて年2回（4月・11月）、「My CUL」（My Chuo University Library）という広報誌を刊行しています。本学のコレクション紹介を中心とする特集に加えて、電子データベースの利用方法を紹介する「Library Navigator」、学外の文化施設等を紹介する「図書館さんぽ」、新収資料紹介などの内容で構成され、本学図書館の活動とコレクションをより多くの方に知ってもらうことを目的に刊行しています。

また、特集の内容に合わせて中央図書館内で年2回企画展示を実施し、こちらも毎回好評を得ています。

●「My CUL」過去の特集一覧

号	特 集 名
1	第1回ロンドン万博関係コレクション
2	トマス・ハーディ コレクション
3	詩歌を読もう
4	和歌と物語の古写本コレクション
5	新収 狂詩集コレクション
6	オウエン・チャーティスト関係コレクション
7	三宅徳嘉教授旧蔵書
8	ウィリアム・ゴドウィンの生誕250周年記念に寄せて
9	海外提携校(韓国)の図書館を訪ねて
10	中央大学の文人教授たち / 大学教授と文筆家、二足の草鞋を履いた人々
11	美の魔術師ウィリアム・モリス
12	19世紀イギリスの挿絵付き雑誌
13	女性解放運動の先駆者 メアリ・ウルストンクラフトの生誕250年を祝して
14	「言葉」をめぐる - 加賀野井秀一の言語ワンダーランド -
15	長谷川如是閑とその交遊
16	法学レキシコン・コレクション Repertorium Aureum
17	中央大学出身の作家たち



◀ 「My CUL」

▼過去の企画展示のようす



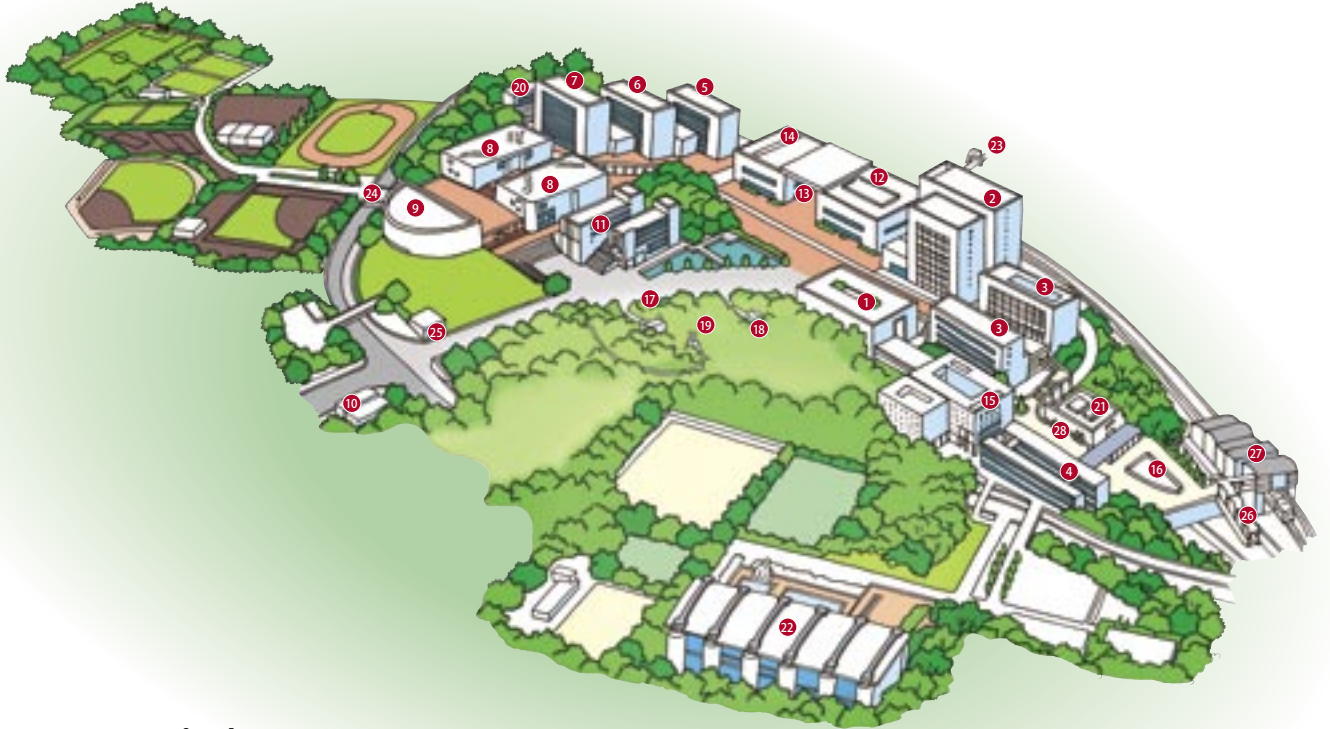
8. アクセスマップ

〈多摩キャンパス〉

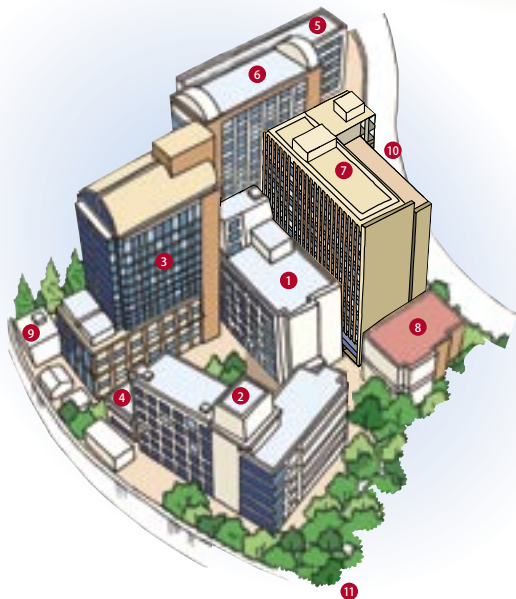
- ① 1号館 (本部棟)
- ② 2号館 (総合研究棟、保健センター) (5階:大学院図書室)
- ③ 3号館 (文学部総合棟) (4階~9階:文学部専攻別図書室)
- ④ 4号館 (サークル棟)
- ⑤ 5号館 (商学部棟)
- ⑥ 6号館 (法学部棟)
- ⑦ 7号館 (経済学部棟)
- ⑧ 8号館 (大教室棟)
- ⑨ 9号館 (クレセントホール)
- ⑩ 10号館 (通信教育部棟)

- ⑪ 11号館 (総合政策学部棟) (3階:総合政策学部図書室)
- ⑫ 中央図書館
- ⑬ セントラルプラザ
- ⑭ ヒルトップ (生協、各種食堂、喫茶店)
- ⑮ 多摩学生生活関連施設「Cスクエア」
- ⑯ グリーンテラス
- ⑰ 100周年記念ステージ・桜広場
- ⑱ 茶室「虚白庵」
- ⑲ 金住稲荷
- ⑳ 多摩学生研究棟「炎の塔」

- ㉑ エネルギーセンター
- ㉒ 第1体育館
(アリーナ、柔剣道場、土俵、ボクシングジムなど)
- ㉓ 北門 (京王線「多摩動物公園」駅方面)
- ㉔ 西門
- ㉕ 正門
- ㉖ 東門
- ㉗ 多摩モノレール 「中央大学・明星大学」駅
- ㉘ 白門プロムナード

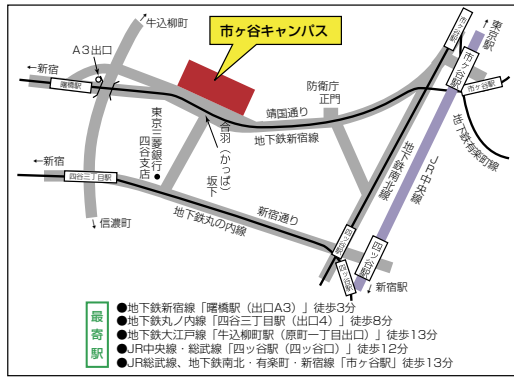


〈後楽園キャンパス〉

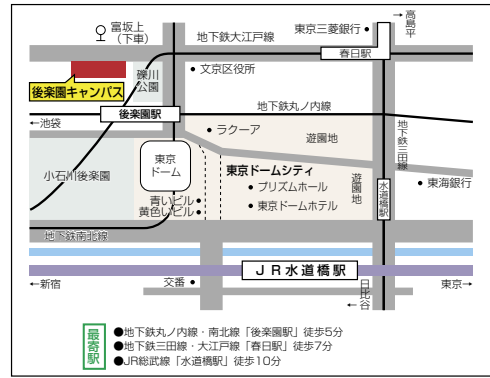


- ① 1号館 (研究室、実験室、保健センター、学生生活課、学友会理工分室)
- ② 2号館 (研究室、実験室)
- ③ 3号館 (13階:ビジネススクール図書室、研究室、実験室、学生食堂、ITセンター、キャリアセンター)
- ④ 4号館 (研究室、実験室)
- ⑤ 5号館 (研究室、実験室、アリーナ、生協、学生食堂、教室)
- ⑥ 6号館 (5階~7階、地下1階:理工学部分館、研究室、実験室、理工学部事務室、教室)
- ⑦ 新2号館 (研究室、実験室)
- ⑧ 8号館 (中央大学高等学校)
- ⑨ 先端技術研究センター
- ⑩ 正門 (白門)
- ⑪ 地下鉄「後楽園」駅

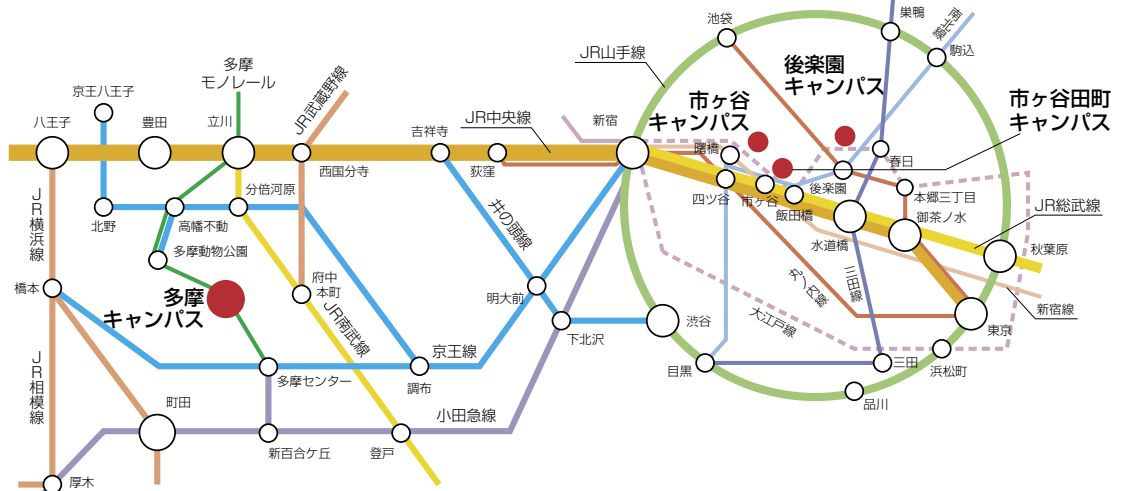
交通案内図



●市ヶ谷キャンパス 〒162-8473 新宿区市谷本村町42-8

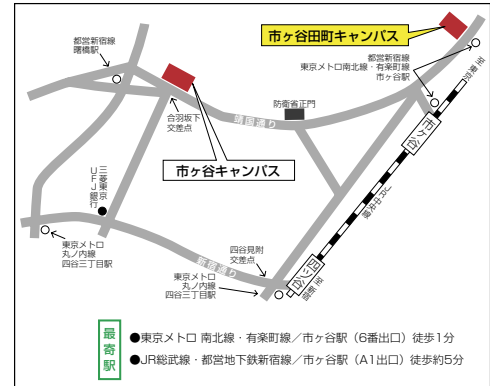
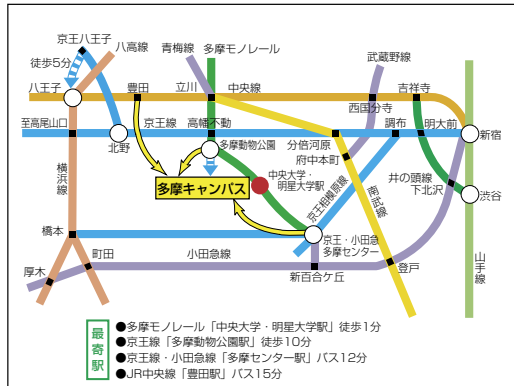


●後楽園キャンパス 〒112-8551 文京区春日1-13-27



●多摩キャンパス 〒192-0393 八王子市東中野742-1

●市ヶ谷田町キャンパス 〒162-8478 新宿区市谷田町1-18



連絡先

(多摩キャンパス)

住所 〒192-0393 八王子市東中野742-1
 中央図書館
 総務課 042-674-2546 FAX 042-674-2547
 情報資料課 042-674-2555 FAX 042-674-2547
 閲覧課 042-674-2511 FAX 042-674-2523
 大学院図書室 042-674-2618 FAX 042-674-2622
 総合政策学部図書室 042-674-4101 FAX 042-674-4104

(後楽園キャンパス)

住所 〒112-8551 文京区春日1-13-27
 図書館（都心キャンパス事務室）
 理工学部分館 03-3817-1982 FAX 03-3817-1978
 ビジネススクール図書室 03-3817-7448 FAX 03-3817-7450

(市ヶ谷キャンパス)

住所 〒162-8473 新宿区市谷本村町42-8
 市ヶ谷キャンパス図書室
 03-5368-3611 FAX 03-5368-3615

(市ヶ谷田町キャンパス)

住所 〒162-8478 新宿区市谷田町1-18
 アカウンティングスクール図書室・文系大学院図書室
 03-3513-0400 FAX 03-3513-0322

URL : <http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/library>
<http://www.library.chuo-u.ac.jp> (蔵書検索)
<http://k.library.chuo-u.ac.jp/k/> (蔵書検索携帯電話用)

